

2010. 6. 24

京都大学ボート部長
前川 覚

計画実施報告

今回第61回京都大学・東京大学対校競漕大会において初めて、最先端技術のWiMAX高速大容量通信システムを利用して、伴走艇や国道橋、唐橋、石山港、京滋バイパス橋上流、ゴール等計6カ所からレースをビデオカメラで撮影して、PCを通じてWiMAX送信し、艇庫屋上観覧席のディスプレイ4台で、実況放映を行いました。スタートからゴールまで全コースの実況映像中継により、3,200mの長距離レースのおもしろさ、屈曲する自然河川でのレースの醍醐味と迫力、漕手の渾身の力漕を堪能することができました。艇庫屋上観覧席では約200名の学生、OB、愛好家らが合宿所前通過時の生のレースとともに、全コースに渡る熱戦を、ディスプレイに釘付けになって観戦しました。観衆からはすばらしい映像中継だったと大変好評を博し、初めての映像中継計画は大成功に終わりました。

映像はさらにUstreamを用いてインターネットを通じて全国のOBや選手家族にも配信され、実況時200人を超えるアクセスがありました。

本WiMAX映像中継は、京大ボート部長の前川覚教授、京大ボート部OBの中村陽一氏（S47卒）、蚊野浩氏（S57卒）を中心に、現役ボート部員やOB有志が一丸となって実験を繰り返し、計画を進めてきました。また、京大ボート部濃青会、京大大学術情報メディアセンター教員、UQコミュニケーションズ株式会社、シャープ株式会社、株式会社イトーキ、関係者等多くの方々からご協力・ご支援をいただきました。

この映像中継計画は試合前の6月12日（土）の京都新聞、6月19日（土）の朝日新聞京都版・滋賀版に大きく報道されました。

本計画によるビデオ撮影は録画・編集されて、YouTube で見ることができます。アドレスは、京大ボート部ホームページをご覧ください。

大勢の応援観戦者の前を力漕する京大エイト



艇庫屋上観覧席でWiMAX映像実況中継に見入る学生、OBら観戦者

